

浜名湖

(静岡県浜松市)

注目ポイント！

- 観光にとらわれない業界横断的な取り組み。
- ジャンルにとらわれない多角的な地域振興による魅力作りに挑戦中。



天然とらふぐによる閑散期の集客数が新たに約4万人！
フラワーツーリズムの参加者は、ここ2年間で約1万人！



上空から見た浜名湖の全景

◇◇ コラム ◇◇

平成15年当時、翌年に迫った浜名湖花博を千載一隅のチャンスと捉え、浜名湖を活性化しようと館山寺温泉の旅館若手経営者が発起。勉強会を重ね、地域の産業、農業、水産業など多種多様な人たちにより、地域の観光振興に取り組む組織「浜名湖えんため」を立ち上げる。

当初は活動に対して一部から批判的な声も上がったが、関係者の意欲的な活動によって成果が出始めている。



浜名湖えんため
代表 稲葉 大輔氏

これまでの経緯

- 平成15年(2003) 「環浜名湖の観光振興を考える会(浜名湖えんため)」が発足し、地域のPRと新しい観光資源の開発を目的とした取り組みを開始する。
「館山寺温泉街まちづくり協議会」が発足し、魅力ある町並みへの取り組みが始まる。
浜名湖花博が開催される。
ふぐの共同加工工場を設立して、地産地消の取り組みを開始する。
- 平成16年(2004) フラワーツーリズムの取り組みとしてビニールハウスに入り込む農家見学を開始する。
現地発着のオプションツアーを企画・開始する。
はもを活用したメニューの商品化を開始する。

主な取り組み

遠州灘天然とらふぐのブランド化

地元でとれる「天然とらふぐ」の一部を地元加工、地産地消として地域ブランドにするため、ホテル・旅館が自力で協同組合を設立して共同加工場を立ち上げ、漁師、漁協は一定量のふぐを協同組合に提供。同時にPR活動を行い、旅行商品化を実現。さらに全国メディアに複数回取り上げられ、集客が増加。

また、ふぐの水揚げのない時期の活性化のため、夏場の「はも」を活用したメニューの商品化や浜名湖うなぎの見直しなど積極的な取り組みを継続中。



遠州灘天然とらふぐ



花の農家見学とガーベラ摘み取り体験の様子

フラワー&グリーンツーリズム

日本一のガーベラの生産地である浜名湖畔。花の街として最初の企画である生産農家見学と花摘み体験は、1万人を超えるお客様が来場。

また、オープンガーデンをめぐるツアーや植栽体験のできるツアーを実施するなど、注目スポットとしての期待が高い。

夏には親子向けの体験プログラムも展開中。

現地発着のオプションツアー

観光客のニーズにきめ細かく対応するため、「浜名湖えんため」が、現地(宿泊ホテル・旅館)発着の日帰りツアー(「遠州道中膝栗毛」)を企画。地域のバス事業者の協力を得てツアーを実現し、浜名湖周辺の周遊増加に寄与。また本ツアーでは、観光客と地域のより緊密なコミュニケーションの実現を目指し、地域の旅館、ホテルのスタッフが案内役を担当。



小国神社の紅葉

温泉街の町並み再生の取り組み

舘山寺温泉の風光明媚な光景と反対にお寺へと通ずる門前街が廃退の兆し。この通りをそぞろ歩きのできる魅力ある町並みへ再整備しようと、自治会・観光協会・商工会が立ち上がり、舘山寺温泉街まちづくり協議会を結成し、平成15年度から取り組みを開始。現在では、ソフト事業と連携したハード整備を開始。



勉強会での議論の様子

問い合わせ先

○浜松市商工部観光コンベンション課

Tel : 053-457-2295 <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

○浜名湖えんため事務局 Tel : 053-487-0194 <http://hamanako@enter-me.jp>

○舘山寺温泉観光協会 Tel : 053-487-0152 <http://www.kanzanji.gr.jp>